

謹賀新年 新年のご挨拶

剣淵町長 早坂 純夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。また、日頃からの町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、積雪量が平年に比較すると少なく、融雪が進むスタートでした。4月に入り春先としては高温があり寒暖差のある春耕期を迎えました。その後は雨や曇天の日が続き、低温と日照不足による作物への影響が懸念される状況でありました。長期予報で天候不順が発表されてはいましたが、7月31日の豪雨、さらに8月に台風が4つも北海道を直撃し、

1週間の内に3つが上陸する例は過去になく、剣淵町においても甚大な被害をもたらしました。

被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

中小河川や町道への被害等におきましては、1億4千万円余りの災害復旧費が町負担となりました。財源は基金等を取り崩して対処してまいりました。今年は、少しでもおだやかな天候の一年であることを切に願うものであります。

災害という大きな痛みはありませんが、人的被害に至らなかったこと、作物冠水や農地災害を受けたにも関わらず、総体的にはまずまずの出来秋であるとお聞きしております。完全な復旧には今年1年かかると考えますが、一日も早く完了を目指し努力してまいります。

さて、昨年の国政を振り返りますと、7月の参議院議員選挙が18歳からの選挙権を行使する初めての選挙となりました。与党は過半数を超え勝利を獲得し、衆議院と合わせて単独過半数となり政権をより強固なものとしたしました。しかし、ここぞという場面では、議論を尽くさず採決に至るのが疑問視される状況であります。党利党略、政権温存だけ

ではなく、国民のための政治姿勢が求められています。

世界の動きでは6月23日、イギリスがユーロ離脱か否かを国民投票で決するという事態になりました。結果、離脱派が勝利し、世界経済は揺らぐことに成りました。また秋には、米国大統領選挙があり、トランプシヨックと言われるほど不透明な政治手腕により、再び世界経済、外交の枠組みが不安視される事態となりました。日本政府は、先だってTPP（環太平洋経済連携協定）を批准していることから、今後のトランプ政権の考え方に左右されるのは否めません。

大きな経済不安の中で幕をあげた2017年は、アベノミクスがどのように推進され、地方創生がどの方向に向かうのか見極め、行政を進めていくことにしなければなりません。一年を振り返り見ますれば、国の財政的支援の流れは「地方創生総合戦略」に基づいた各自治体の事業を審査のうえ、交付金事業として認定する方向にシフトされてきました。

町としては、一昨年からチャンスとしてとらえ、交付金を活用すべく対象となる事業申請を進めてきました。それは、購買促進プレミアム商

品券事業に始まり、UIJターン応援事業、新商品開発・販路開拓支援事業、じやがいもプロジェクト、キヌア栽培研究、起業化支援事業、海外からのインバウンドを図る施策としての観光振興に関する事業や婚活応援、地域交流館「てとて」ふれあい交流事業、官民連携による農産物ブランド化推進事業、農業の6次産業化等、町単独財源ではできない事業に振り向け、進めてまいりました。その結果、総額1億2千万を超え、事業化を進めることができました。今後も、有効な財源確保の一部手段として地方創生総合戦略事業に沿った剣淵町の未来づくりを進めてまいります。



昨年の主な出来事では、4月に国保診療所所長に稲田先生が赴任され、新たな地域医療体制でスタートすることができました。所長は患者に優しい医療を心掛けられ、信頼も厚く町内唯一の医療機関として期待されるものであり、今後は、福祉との連携もより深めていくこととなります。

6月には悲願でありました高速度道路と道の駅を結ぶパーキング構想が、国のモデル事業に採択されました。砂川サービスイリアのように高速度道路からの乗り入れによるミニハイウェイオアシス化を図るものです。まだスタートラインに立ったばかりではありますが、道の駅を核とした地域の活性化を図る手段のひとつとして期待されるところでございます。

7月には、映画じんじんの2作目が製作されることになり、今度のロケ地は神奈川県秦野市でございます。剣淵町も立石銀三郎の故郷として、大地康雄さん、中井貴恵さん、佐藤B作さんが再び剣淵の地でロケを行いました。ロケにご協力いただきました皆様に感謝とお礼を申し上げます。映画による効果は計り知れないものがあると考えますし、3月の完成が待ち遠しいと思うわけであります。上映会も開催する予定でござ

いますので、ご期待いただきたいと思います。8月は、宮田亮平文化庁長官が来訪され、剣淵町の町づくりに対し絵本の館に於いて文化庁長官賞を日本人直々に授与いただきました。絵本を素材として、農業と福祉が融合され、地域を活かした文化芸術活動が地域活性化の功績として表彰を受け

たものです。今後の絵本の里づくりが、より期待されるものであり町民の皆様に参加・協力があつてのことであり、ご尽力に敬意を表し感謝申し上げます。



国は政策として「まち・ひと・しごと」を掲げ、地方創生として進めています。その一つはインバウンドに力を入れており、海外からの日本訪問に対し経済活動を結びつけようというものでございます。町の事業等は、農業のブランド化推進や観光

振興関係にも取り入れ、活性化を試みているわけでございます。年間を通じての事業推進は、剣淵町総合計画や地方創生総合戦略計画に基づき進めてまいりました。

事業の中には直ぐに結果を出せる事業・出せない事業があり、これらを融合させて取り組むことになりました。総務省のヒヤリングを受け一律に認証されるのではなく、事業一つひとつが審査の対象となるわけでございます。町ではこれらを踏まえ、絵本と観光を結び付け、文化を通じた施策を組み合わせて進めてございます。剣淵町をPRすると同時に、経済効果への布石を打ち、広域連携等も含めて進行中であります。一連の事業に対して町民皆様の深いご理解をいただけますようお願い申し上げます。

財政状況が非常に厳しい中、一人一人や一自治体には限りがあります。先頭に立ってこの難局に取り組み、努力をして参りたいと存じますので、町民の皆様の深いご理解、ご指導、そして皆様一人ひとりのご協力を改めてお願い申し上げます。この新しい年がより佳き年になりますよう心より祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

剣淵町議会議長

大河 邦晃



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様方には2017年の輝かしい新春を、元気で迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より町政の推進に特段のご理解とご協力をいただいておりますことに対しまして、議会を代表して厚くお礼を申し上げます。昨年の町行政を振り返ってみますと厳しい財政状況が続く中で、健全財政を堅持しつつ、産業基盤の整備、教育文化の向上、福祉の充実と均衡のとれた行政運営を展開してまいりました。

農業では、7月31日からの3回にわたる大雨災害で、田畑の冠水、浸水被害、倒伏などの被害が発生し、畦や農道の崩落、農業施設への土砂流入など過去にない被害となりました。

たが、収穫期を目前に控え議会とい
たしましても町と慎重に協議をしな
がら災害後、より緊急を要するところ
から順次復旧を進めました。

被害農家の皆様には心からお見舞
い申し上げます。幸いにして、町や
土木関係者の迅速な復旧対応、また
農業関係機関の適切な指導があつて、
農作物の作柄については、馬鈴薯や
小豆を除き平年並みを確保できたとお
聞きしております。昨今の農業を
取り巻く環境は、高齢化や担い手不
足、資材の高騰、TPPなど厳しい
状況であります。今後も、町、議
会はもちろんのこと関係農業団体と
一丸となって、災害対策、経営所得
安定対策や農業振興対策について取
り組んでいかなければならないと思
っています。農業者の皆様にも常に
前向きな努力を願うところでござい
ます。



明るい話題もたくさんありました。
4月には、ジャガイモプロジェクト
を発展的解消したけんぶち農業ブラ
ンド化推進協議会を発足しました。

今後の販売体制の構築、6次産業化
や農と食を連携した観光の取組みな
どでけんぶちブランドの確立を期待
するものです。6月には、けんぶち
道の駅周辺のPA整備として国土交
通省の、高速道路のサービスエリア、
パーキングエリアを活用した観光振
興や地域活性化を促進する事業に採
択されました。高速道路と国道を道
の駅でつなぐハイウェイオアシス化
の駅についてはスマートインターを整備
し、これからの地域観光などの活性
化に期待するところです。7月には、
親子愛など絆の大切さを描く映画
「じんじん」続編の剣淵ロケがあり
ました。2013年の公開時から今
でも全国のホールや学校で小規模上
映会を続けており、観客動員数は25
万人を超えたと聞きます。2作目の
舞台は神奈川県秦野市が中心となり
ますが、さらに心のふるさと剣淵が
広まることを期待します。8月には、
文化庁の文化芸術創造都市部門文化
庁長官表彰に剣淵町が選ばれ、文化
庁長官が剣淵に訪れ伝達式が行われ
ました。地域の特色を生かした文化

芸術活動、地域振興などに顕著な成
果を上げている市町村を表彰するも
ので、長年の絵本での町づくりが高
く評価されました。また、日本ハム
ファイターズが実施している201
6年の北海道179市町村応援大使に剣
淵町が選ばれ中田翔選手、石川慎悟
選手がふるさと応援大使に就任され、
町民応援観戦ツアー、野球教室など
を行いました。日本シリーズ優勝後、
11月下旬に中田選手が剣淵に訪れト
ークショーで町民と交流をしました。

交流関係では、11月にロシア・ア
ニワ市長らが来町し、姉妹都市への
発展に向けて交流を深めました。今
後は経済、文化などの交流が進んで
いくものと思われれます。その他将来
に向け東南アジアからの観光客の誘
致事業を推進しているところで、町
長が蒔いた種が大輪の花をつけるよ
う期待するところです。

町の発展は、行政主導でなく、民
間の活力が最も重要であり、行政と
議会も一体となり、これからの活動
を支援していく覚悟です。これまで
先人が築いてこられた恵まれた郷土
を礎に、更なる発展を目指していく
と同時に、本年は町長、議会議員の
改選の年であり、残された任期もわ
ずかでありますが、最後まで町民の

皆様の期待に応えるべく全力を傾け
る決意でございますので、より一層
のご理解とご協力をお願いするところ
です。

本年も豊穡の年であることを願ひ、
新しく迎えた年が希望に満ちた年で
ありますように心からご祈念申し上げ
年頭のご挨拶といたします。

